

コード	501040706
記入日	H24.11.28

新規事業評価表【事前評価】

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	魚目小学校図書室改修事業
----------	--------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 ー 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け		
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10	
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2	
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1	
事務事業コード	5010407	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966	
関連計画					法令・条例規則等	

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 町民	(対象指標1) 22,235人(Ⅱ24.10.1現在)
(対象2) 魚目小学校	(対象指標2) 1校、143人(Ⅱ24.5.1現在)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・魚目小学校図書室は、中央図書館新魚目分館と兼用で整備されており、小学校の正面玄関が一般利用者の出入り口となっていることから、不特定多数の者が出入りするようになってきている。そこで、学校の安全管理が懸念されており、既存図書室の一部壁面を改修し、引き違い扉を設けるものである。 →魚目小学校図書室改修工事 校舎棟壁面改修、既存建具撤去1.0式 アルミ製建具引き違い扉取付 L=1,800mm H=2,050mm	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 図書室改修工事 1.0式 扉取付工事 L=1,800mm H=2,050mm 平成25年度
②	
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・近年、図書館の利用者は増えつつあり、今後の図書館サービスや利便性の向上が課題となっている。その一方で、中央図書館新魚目分館は、魚目小学校図書室と兼用で整備されており、小学校の正面玄関が一般利用者の出入り口となっていることから、不特定多数の者が出入りするようになってきている。平日は教職員がいること、休日及び祝祭日を考えると、社会的にも学校での事件事故が相次いでいることから、学校の安全管理が懸念されており、よりよい教育環境の推進を目指して、既存図書室の一部壁面を改修し、引き違い扉を設けるものである。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 工事進捗率 100% 実施事業費÷計画事業費 平成25年度
②	

実施 (DO)

	単位	全体計画								
		H 25 ~ H ー	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
活動指標	① 式	1.0		1.0						
	②									
成果指標	① %	100		100						
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	1,801		1,801						
直接事業費 A	千円	1,101		1,101						
人件費 B	千円	700		700						
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1						
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	1,801		1,801						

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	小学校の正面玄関が一般利用者の出入り口となっていることから、不特定多数の者が出入りする。平日は教職員がいるものの、休日及び祝祭日を考えると、学校の安全管理が非常に懸念されており、喫緊の課題として取り組む必要がある。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	事業対象は、魚目小学校の児童であり、それら児童の安全を早急に確保する意味から適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	早急な、生徒のための安心・安全な学校づくりを目指す教育環境の整備は、町の責務であり必要である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	事業を行わないことは、児童を危険にさらすことに繋がり、安心・安全な学校づくりに反することにつながることから影響は大きい。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	合理的経費であり、児童の安全を守るためには必須の事業であることから、その費用対効果は大きく削減はできない。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	中央図書館新魚目分館を学校図書室と兼用で魚目小学校に設置する際、学校の安全管理を解決した上で併設したものと推測され、図書室専用の出入口を設けても不特定多数の者が出入りし、学校の安全管理は現状と変わらず解決策にならない。学校の安全管理及び児童の安全確保が懸念されるのであれば、学校図書室としての機能を残し、図書館新魚目分館の機能を移すことを検討すべきである。また、図書室の利便性向上の観点からも、外壁を壊しての出入口の設置は不要であると判断する。
-------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>計画どおりに事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施期間を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を減額して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次		●			計画どおりに事業を実施する				事業内容を見直して事業を実施する				実施期間を見直して事業を実施する				事業費を減額して事業を実施する				類似事業と整理統合して実施する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画どおり実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画を見直して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>当分の間は実施しない</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次					次年度以降に計画どおり実施する				次年度以降に計画を見直して実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する		●		当分の間は実施しない
	1次	2次	3次																																											
	●			計画どおりに事業を実施する																																										
				事業内容を見直して事業を実施する																																										
				実施期間を見直して事業を実施する																																										
				事業費を減額して事業を実施する																																										
			類似事業と整理統合して実施する																																											
1次	2次	3次																																												
			次年度以降に計画どおり実施する																																											
			次年度以降に計画を見直して実施する																																											
			次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																											
	●		当分の間は実施しない																																											

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。